



四小だより

平成27年11月27日号

いちよう

山形市立第四小学校
校長 坂本 澄子

〒990-0055

山形市相生町4番37号

TEL 623-6019

FAX 633-9321

<児童数 183名>

一人一人の思いを歌や演奏にのせて「いちよう音楽会」

冷たい雨とともに一気に冬がやってきたようです。今子どもたちは、様々な行事を通して学びを深め、2学期のまとめの学習に入っています。

今年で19回を数える「いちよう音楽会」が、11月14日やまぎんホールで開催されました。四小三大行事の最後にいちよう音楽会があるのには理由があります。仲間とともに歌や演奏を創り上げることをとおして一人一人の成長を表現するためです。

「全力・真剣・あきらめない」をテーマに自分に厳しく練習に取り組んで創り上げた中学年部のステージは、見事に全員の気持ちが一つになって表現されました。初めての1年生は笑顔いっぱい、鍵盤ハーモニカも上手にふけるようになり、2年生のリズムのリードで楽しんで表現できました。そして、きぼう・ハート学年の「自分たちの未来を自分で切り拓いていこう」という強いメッセージはしっかりと伝わりました。まさに、5、6年生の歌声が四小を引っ張っているという姿でした。どの合唱どの演奏からも体全体で伝えようとする思いが届きました。また、4、5、6年生の司会やナレーション、ステージ系の動きもいい緊張感をもちながら自分の役割を果たそうとする姿が美しかったです。いちよう音楽会への取り組みをとおして子どもたちが自分自身の成長を実感できたと思いますし、高めた力を活かして明日からの暮らしをよりよいものにしていくことを期待しています。

ご来場いただいた地域、保護者の皆様、そして照明をお手伝いいただいた皆様、声楽部を指導していただいた山形大学の学生さんをはじめ、ご協力をいただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。これからも、「心をつなぐ歌声活動」を四小の伝統として継承していきたいと思ひます。



仲間との関わりを深めた 思い出に残る きぼう学年修学旅行

11月19、20日は6年生きぼう学年の修学旅行に引率してきました。昨年度より一ヶ月遅い日程でしたが、二日間天候にも恵まれて首都大東京を満喫することができました。初日は、地下鉄を乗り継いで国会議事堂見学と劇団四季の「ライオンキング」鑑賞。その後、水上バスで隅田川の夜景を堪能しました。二日目はスカイツリー見学から班行動になります。曇りで富士山は見えませんでした。地上350Mから眺める東京は絶景でした。大江戸博物館の後は、お楽しみの浅草仲見世通りへ。昼食も班ごとに店を選んで食べました。そして最後は上野公園。国立科学博物館や上野動物園をじっくりまわりました。

きぼう学年のめあては「仲間の輪を広げ、思い出に残る修学旅行にする」ことです。同じ班の仲間はもちろん、普段あまり話をしない人にも積極的に話しかけて関わりを深めることがねらいです。電車に乗るために走ったり、集合時刻に遅れてしまったりとうまくいかないこともありましたが、それが班で振り返り知恵を出し合って解決していく学習の場となりました。子どもたちは、マナーを守り安全に気をつけて、本当にたくさんの楽しい思い出をつくることができました。この二日間での仲間との絆を今後の暮らしでさらに深めていってほしいです。保護者の皆様には、旅行までの準備、体調管理そして当日の送迎等にご配慮いただき感謝いたします。お陰さまで、32人全員元気で帰ってくることができました。



江戸時代のかごに乗って大名気分



浅草寺でおみくじをひいて...